

ACPの普及啓発にかかる ワーキング

ワーキング委員の所属団体及び委員

団体名	委員氏名
長崎市介護支援専門員連絡協議会	大町委員
長崎市訪問看護ステーション連絡協議会	小笹委員
長崎市訪問介護連絡会	武田委員
長崎市医師会	土屋委員
長崎市民生委員児童委員協議会	野口委員
長崎市老人福祉施設協議会	野濱委員
長崎市地域包括支援センター連絡協議会	深堀委員

ワーキングの日時及びテーマ

1回目	令和5年8月30日（水） 19：00～20：30	A C Pの普及啓発の現状と課題の共有
2回目	令和5年9月6日（水） 19：00～20：30	A C Pの普及啓発の対応策の検討

ワーキング結果まとめ

課題	長崎市の現在の取り組み 事務局の対応策（案）	対応策（案）
① （状態により） 本人の思いの把握が困難	【対応策(案)】 ・健康なうちから、 <u>元気なうちから手帳</u> を活用したACPの普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・親を見ている世代（ケアラー）、50代以降の方たちへ<u>元気なうちから手帳</u>を見てもらうなど、広く浅く目にする機会を設ける ・施設入居申し込み時の申込書類に<u>元気なうちから手帳</u>を追加
② ACPへの抵抗感 （本人・支援者側）	【現在の取り組み】 ・ACP普及啓発（出前講座）	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>元気なうちから手帳</u>の第4章「これからのこと」の視点から取り組む ・ACPIについて話した後、30分くらいゆっくり話を聞く ・従事者自身が<u>元気なうちから手帳</u>を記入する ・入りやすい話題から話す ・もしばなゲームを活用する ・「ACPが最期を決めること」というマイナスなイメージを「これからの生き方を考えること」へ変えていく
③ ACPIについて扱う場やタイミング	【対応策(案)】 ・本人の思いを汲み取れるような支援者側の研修の場 ・ACP事例やケースの共有	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議の場を活用する ・介護保険証の送付時に<u>元気なうちから手帳</u>を同封する ・認知症サポーター養成講座のように、カリキュラムを作り、講座を実施する ・還暦を迎える方へ<u>元気なうちから手帳</u>を配布する ・施設入所のタイミングでACPを実施する

ワーキング結果まとめ

課題	長崎市の現在の取り組み 事務局の対応策（案）	対応策（案）
④ 家族間でのやりとり	<p>【現在の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元氣なうちから手帳を活用した家族間で話し合うことの普及啓発 <p>【対応策(案)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族を含めたACPの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日などのイベント時に家族で話しをするよう勧める
⑤ ACPの普及啓発不足	<p>【現在の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座（市民・専門職向け） ・民生委員全体への普及 ・看護の日イベントで啓発 <p>【対応策(案)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な団体への周知・普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPIにACPを組み込む ・敬老の日などの場で元氣なうちから手帳を配布する ・メディアによる周知 ・「もっとなるばい！元氣なうちから手帳」が長崎市民の共通言語となるような取り組み ・訪問看護ステーション全施設へ元氣なうちから手帳を配布し、研修の際に活用する ・ケアマネ研修会で元氣なうちから手帳を実際に記入する ・他都市でもACPの取り組みがあることを周知する
⑥ 知識・経験不足 （職員・互い・利用者）	<p>【対応策(案)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の場の提供 ・ACP事例やケースの共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション全施設へ元氣なうちから手帳を配布し、研修の際に活用する ・ケアマネ研修会で元氣なうちから手帳を実際に記入する

ワーキング結果まとめ

課題	長崎市の現在の取り組み 事務局の対応策（案）	対応策（案）
⑦ 時間・余裕がない		<ul style="list-style-type: none"> ・ 職能団体が研修会を開催し、学ぶ機会を多く持つことで、ACPの必要性への理解を促す
⑧ 必要性を感じない	【対応策(案)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の場の提供 ・ ACP事例やケースの共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他都市でもACPの取り組みがあることを周知する ・ 施設での看取り割合などを把握する
⑨ 多職種連携の方法・多職種間の役割	【対応策(案)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の場の提供 ・ ACP事例やケースの共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援者側だけで共有できる連携ノート ・ <u>安心カードや元気なうちから手帳</u>、市医師会作成わたしの思い、市消防局作成情報提供書のツールを統一化する ・ Drとの連携ツールとしてもっとコンパクトなものを作成する（保険証サイズなど）

ワーキング結果まとめ

課題	長崎市の現在の取り組み 事務局の対応策（案）	対応策（案）
<p>⑩ 元気なうちから 手帳の配布方法</p>	<p>【現在の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の日イベントで<u>元気なうちから手帳</u>を配布 <p>【対応策(案)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの配布方法を継続しつつ、<u>元気なうちから手帳</u>の設置場所を増やす取り組み（薬局、医療機関、公共施設など<u>元気なうちから手帳</u>を目に触れる機会を増やす） ・様々な団体の研修会等で<u>元気なうちから手帳</u>を活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・葬儀場に<u>元気なうちから手帳</u>を設置する ・地域センターなど市民がよく行く場所に<u>元気なうちから手帳</u>を設置する
<p>⑪ 元気なうちから 手帳の内容の改訂</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・通常の<u>元気なうちから手帳</u>と支援者側用との共有が図りやすいコンパクト版のツールを検討する

ACPの普及啓発の対応策まとめ

<ul style="list-style-type: none"> ●「元氣なうちから」、「健康なうちから」、まずは元氣なうちから手帳を手にする機会・目にする機会を作る。 	課題①、②、③、④、⑤、⑥、⑨、⑩
<ul style="list-style-type: none"> ●職能団体として研修を開催するなどACPIについて学ぶ機会を持ってもらう。研修の場で、実際に元氣なうちから手帳に記入してみる取り組みを提案。団体主催での研修実施に向けて働きかけを行う。 	課題②、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨
<ul style="list-style-type: none"> ●介護保険証の送付の際に元氣なうちから手帳を同封し、早い段階で元氣なうちから手帳を目にする機会を作る。 (これまでの「丁寧に説明してから配布」から変更) 	課題②、③、④、⑤、⑥、⑩
<ul style="list-style-type: none"> ●様々な場面、様々なタイミングで元氣なうちから手帳を配布する取り組み (これまでの「丁寧に説明してから配布」から変更) 	課題②、③、④、⑤、⑥、⑩
<ul style="list-style-type: none"> ●市民がよく行く場所（地域センターやふれあいセンター、老人憩いの家など）に元氣なうちから手帳を設置し、より多くの方へ啓発できるような取り組みに変更。 (これまでの「丁寧に説明してから配布」から変更) 	課題②、③、④、⑤、⑥、⑩
<ul style="list-style-type: none"> ●方法論、やり方を説明していく働きかけ。元氣なうちから手帳に記入したあとのACPの進め方の事例、話し方の事例のノウハウをケアマネだけでなく、様々な職種が聞ける機会を作る。 	課題④、⑥、⑦、⑧
<ul style="list-style-type: none"> ●通常のサイズの元氣なうちから手帳と連携用のコンパクトな簡易版の2つのツールを検討。 (同時に、既存の様々なツールの統一化も検討) 	課題⑨、⑩